

2026年3月期
第1四半期

決算補足 説明資料

8月7日



anicom

アニコム ホールディングス株式会社

証券コード：8715

全体目次

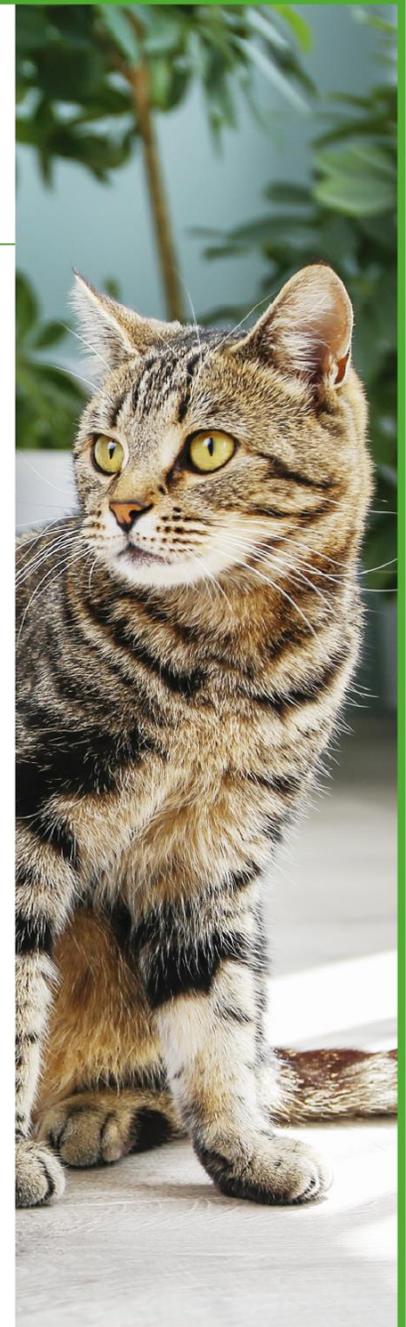
1 第1四半期 決算概要

2 重点施策の進捗状況

3 APPENDIX

1 第1四半期 決算概要

1. 全体サマリー(経常収益・経常利益)
2. 損益計算書 サマリー
3. 経常費用・利益のパラメータ
4. 経常利益の増減要因(対前年同期差分析)
5. 貸借対照表 サマリー





1. 全体サマリー(経常収益・経常利益)

経常収益

18,235 百万円

前年同期比10.4%増(1,716百万円増)
うち、保険引受収益は前年同期比9.9%増(1,426百万円増)

のれん償却前
経常利益

1,025 百万円

前年同期比39.0%減(656百万円減)

経常利益

960 百万円

前年同期比40.7%減(659百万円減)

順調な新規契約獲得と周辺事業の拡大を図りながら着実に増収
一方、他社契約移管コストの発生で減益

■ 経常収益

- ペット保険の新規契約件数は6.9万件、同保有契約件数は131.8万件(8.6%増)と**伸長が加速**
- 保険事業以外の、その他経常収益は2,095百万円(12.0%増)と**順調に拡大**
- 資産運用収益は362百万円(22.5%増)となり、不透明な市場環境下で機動的な資産運用を図り、**計画を上回る進捗**

■ 経常利益

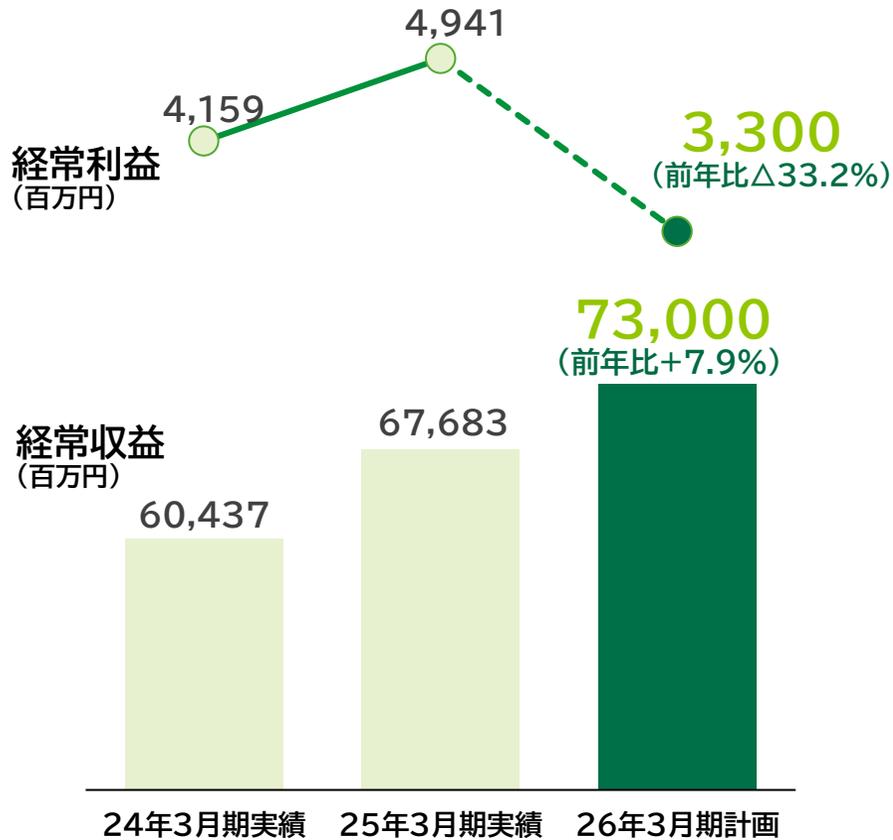
- アクサダイレクト契約移管コストの発生により**減益となりつつも、計画対比では順調に推移**



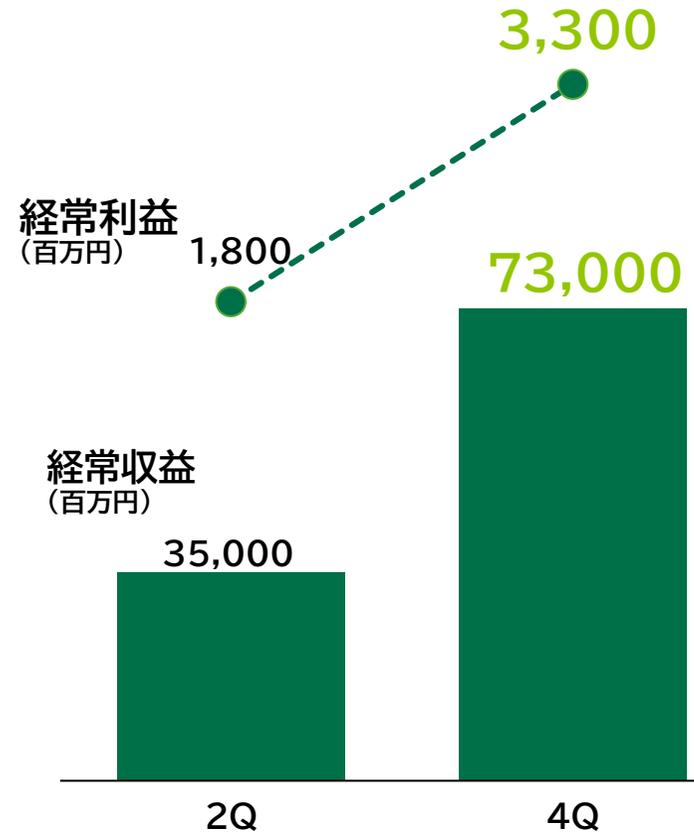
1. 全体サマリー(経常収益・経常利益)

(参考)2026年3月期 損益計画 (年間・半期累計)

年間計画



半期累計計画



2. 損益計算書 サマリー



(百万円)

	25年3月期 1Q	26年3月期 1Q	対前年同期比 増減率
経常収益	16,519	18,235	10.4 %
保険引受収益	14,351	15,778	9.9 %
資産運用収益	295	362	22.5 %
その他経常収益	1,871	2,095	12.0 %
経常費用	14,899	17,275	15.9 %
保険引受費用	10,016	11,298	12.8 %
・正味支払保険金	(8,045)	(8,759)	8.9 %
・損害調査費	(277)	(290)	4.7 %
・諸手数料及び集金費	(1,330)	(1,412)	6.2 %
・支払備金繰入額	(154)	(396)	157.6 %
・責任準備金繰入額	(208)	(439)	110.3 %
(うち未経過保険料)	(532)	(711)	33.7 %
(うち異常危険準備金)	(△ 323)	(△ 272)	- %
資産運用費用		1	- %
営業費及び一般管理費	4,183	5,224	24.9 %
その他経常費用	699	750	7.3 %
のれん償却前経常利益	1,682	1,025	△ 39.0 %
経常利益	1,620	960	△ 40.7 %
純利益	1,111	650	△ 41.5 %



2. 損益計算書 サマリー

(参考)アニコム損保 保険重要指標

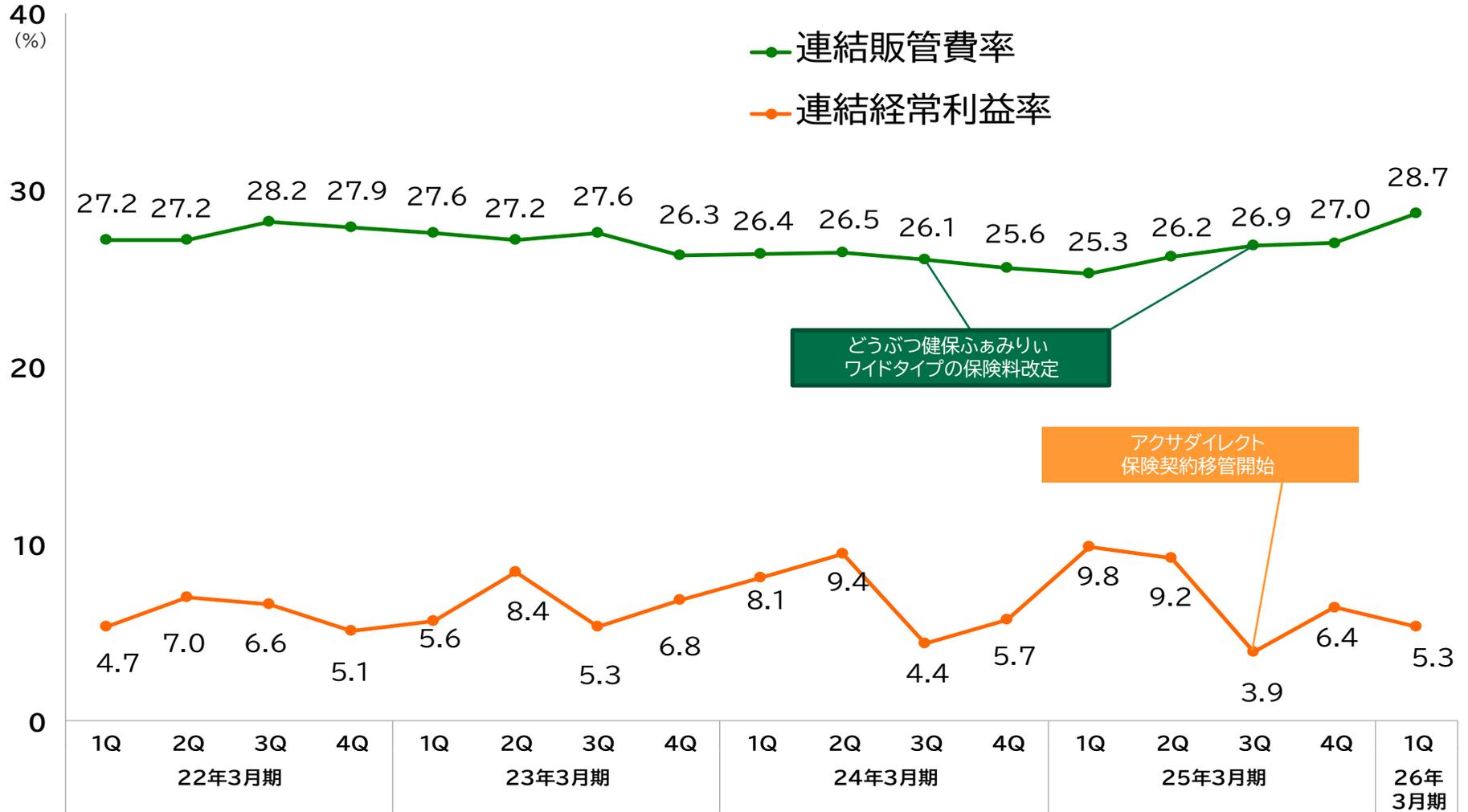
	25年3月期 1Q	26年3月期 1Q	(百万円) 対前年同期比 増減率
既経過保険料	13,884	15,134	9.0%
発生保険金(損害調査費含む)	8,476	9,446	11.4%
E/I損害率①	61.1%	62.4%	1.3pt
既経過保険料ベース事業費率②	32.8%	35.5%	2.7pt
(内、諸手数料及び集金費率)	(10.0%)	(9.8%)	(△0.2pt)
コンバインド・レシオ(既経過保険料ベース)①+②	93.9%	97.9%	4.0pt



3. 経常費用・利益のパラメータ

※販管費率、経常利益率(連結)

※ アニコム損保単体の経営パラメータ(損害率・事業費率・契約件数)はAPPENDIX参照



4. 経常利益の増減要因(対前年同期差分分析)

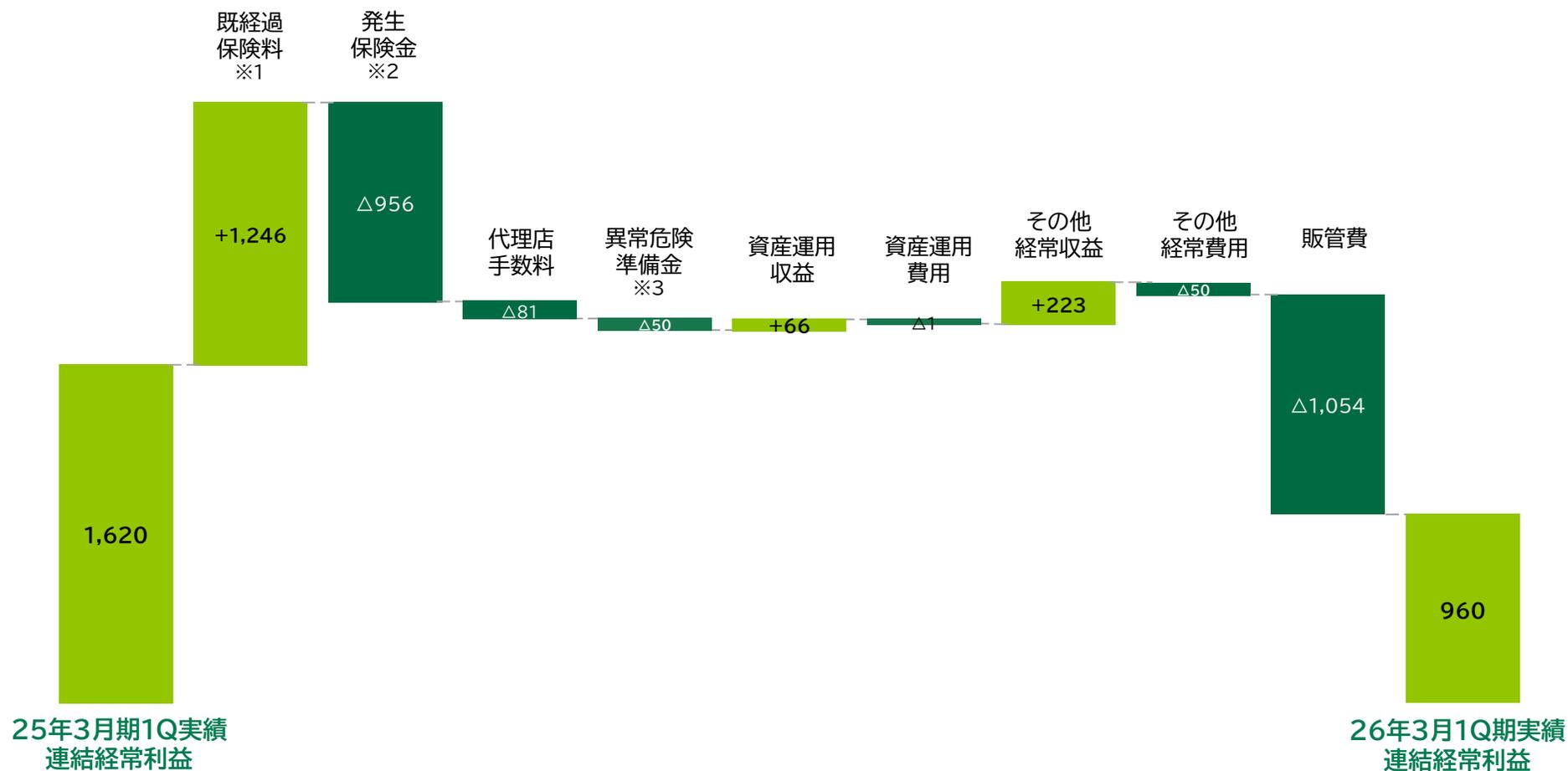


※1 既経過保険料 = 保険引受収益 - 普通責任準備金繰入額(未経過保険料)

※2 発生保険金 = 正味支払保険金 + 支払備金繰入額

※3 異常危険準備金 = 異常危険準備金繰入額 + 異常危険準備金戻入額

(百万円)



5. 貸借対照表 サマリー



(百万円)

	25年3月期末	26年3月期 1Q	対前年末比 増減率
資産合計	72,494	72,189	△ 0.4 %
現金及び預貯金	26,460	24,216	△ 8.5 %
有価証券	29,430	28,865	△ 1.9 %
固定資産	7,014	8,284	18.1 %
その他資産	9,588	10,822	12.9 %
負債合計	44,427	44,307	△ 0.3 %
保険契約準備金	26,774	27,611	3.1 %
うち支払備金	3,532	3,929	11.2 %
うち責任準備金	23,242	23,681	1.9 %
社債	10,000	10,000	— %
その他負債	7,653	6,696	△ 12.5 %
純資産合計	28,066	27,882	△ 0.7 %
株主資本	30,132	29,901	△ 0.8 %
評価・換算差額等	△ 1,916	△ 1,870	— %
その他	△ 149	△ 149	— %
負債・純資産合計	72,494	72,189	△ 0.4 %

2 重点施策の進捗状況

1. 重点施策の進捗状況（保険事業・資産運用・その他）
2. 重点施策の進捗状況（シナジー創出事業）
3. トピックス





1. 重点施策の進捗状況 (保険事業・資産運用・その他)

保険事業

新規・保有契約の状況

新規契約獲得件数は、四半期単位6.9万件で過去最高更新を継続
25年6月末の保有契約件数は131万件を突破

アクサダイレクトからの 契約移管

24年12月より移管が開始され、25年11月完了予定。

決算期	移管契約数	移管手数料
25年3月期	約1.1万件(実績)	約5.5億円(実績)
26年3月期 1Q	約0.8万件(実績)	約4.0億円(実績)

商品・サービスの拡大

「どうぶつ健活」の堅調な増加が寄与し、
年間の継続率は88.3%と安定して高いレベルで推移

資産運用

柔軟かつ機動的な資産運用により、計画を達成

インカム収益を着実に積み上げながら、当初計画を上回る資産運用益を確保

その他

「従業員一人一特許戦略」の推進 25年6月末 発明者数146名

【分野別 特許件数】※25年6月末時点

	画像認識 AI	遺伝子 フード・ 腸内細菌叢	再生医療	その他	合計
特許 件数	9	9	2	3	23

【取得した特許の例】特許第7437479号

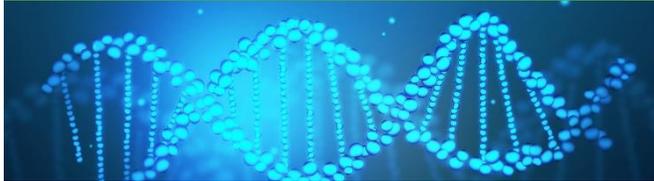
動物の腸内細菌叢の多様性と保険リスクの
相関関係に基づいた保険料の算出方法
腸内細菌叢中の特定の菌の有無によって疾病罹患を予測



2. 重点施策の進捗状況 (シナジー創出事業①)

産まれる前から

川上



ブリーディングサポートの強化

動物愛護法の改正も踏まえ、
各施策を強力に推進中

マッチングサービス事業の強化

『みんなのブリーダー』『みんなの子猫ブリーダー』
成約件数が40万件を突破



マッチングサービス事業 25年度1Q業績

- 売上高 : 596百万円(前年度 552百万円)
- 経常利益: 84百万円(前年度 134百万円)

注)売上高は外部売上、経常利益はのれん償却後

日々の暮らし

川中



健診+口腔・腸内ケア商材の拡販

「どうぶつ健活」を通じた各種ケア商材の
試食会・勉強会を全国拠点にて開催



健康イノベーション事業 25年度1Q業績

- 売上高 : 124百万円(前年度 70百万円)
- 経常利益: △61百万円(前年度 △16百万円)

注)売上高は外部売上

治らないを治す

川下



動物医療関連 (予防～一般・高度医療)

高度医療を提供する『JARVIS どうぶつ医療
センター Tokyo』開業(2025年10月予定)
に向け準備を実施



左:品川の病院外装共用部
下:見学可能な6連の手術室
※いずれもイメージ



動物病院運営事業 25年度1Q業績

- 売上高 : 682百万円(前年度 650百万円)
- 経常利益: 60百万円(前年度 90百万円)

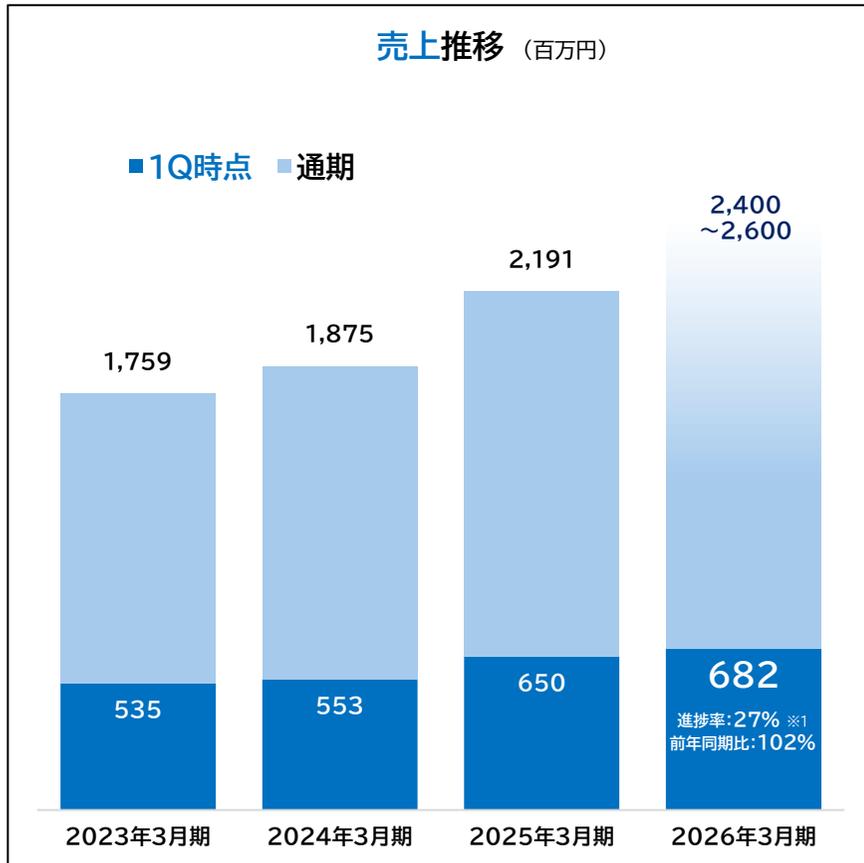
注)売上高は外部売上、経常利益はのれん償却後



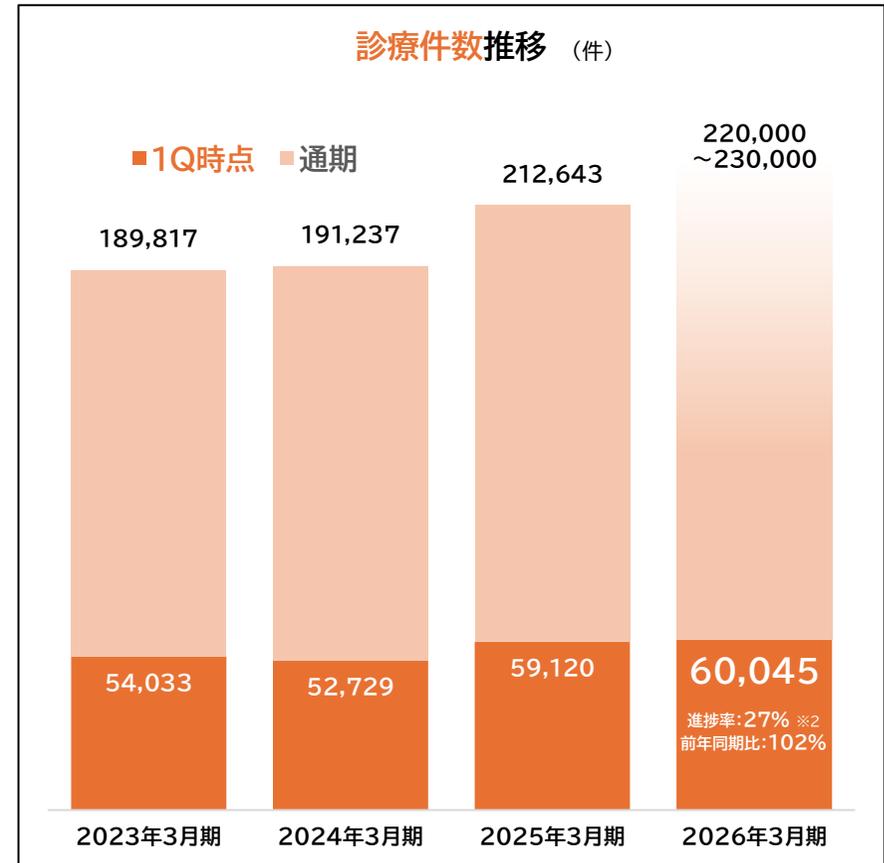
2. 重点施策の進捗状況 (シナジー創出事業②)

●動物病院運営事業主要KPI

24年3月より「大久保動物病院」がグループインし、売上は堅実に推移。
品川に開業する高度医療施設「JARVIS Tokyo」によるさらなる拡大を見込む。



※1 通期の売上見込みを2,500百万円として算出



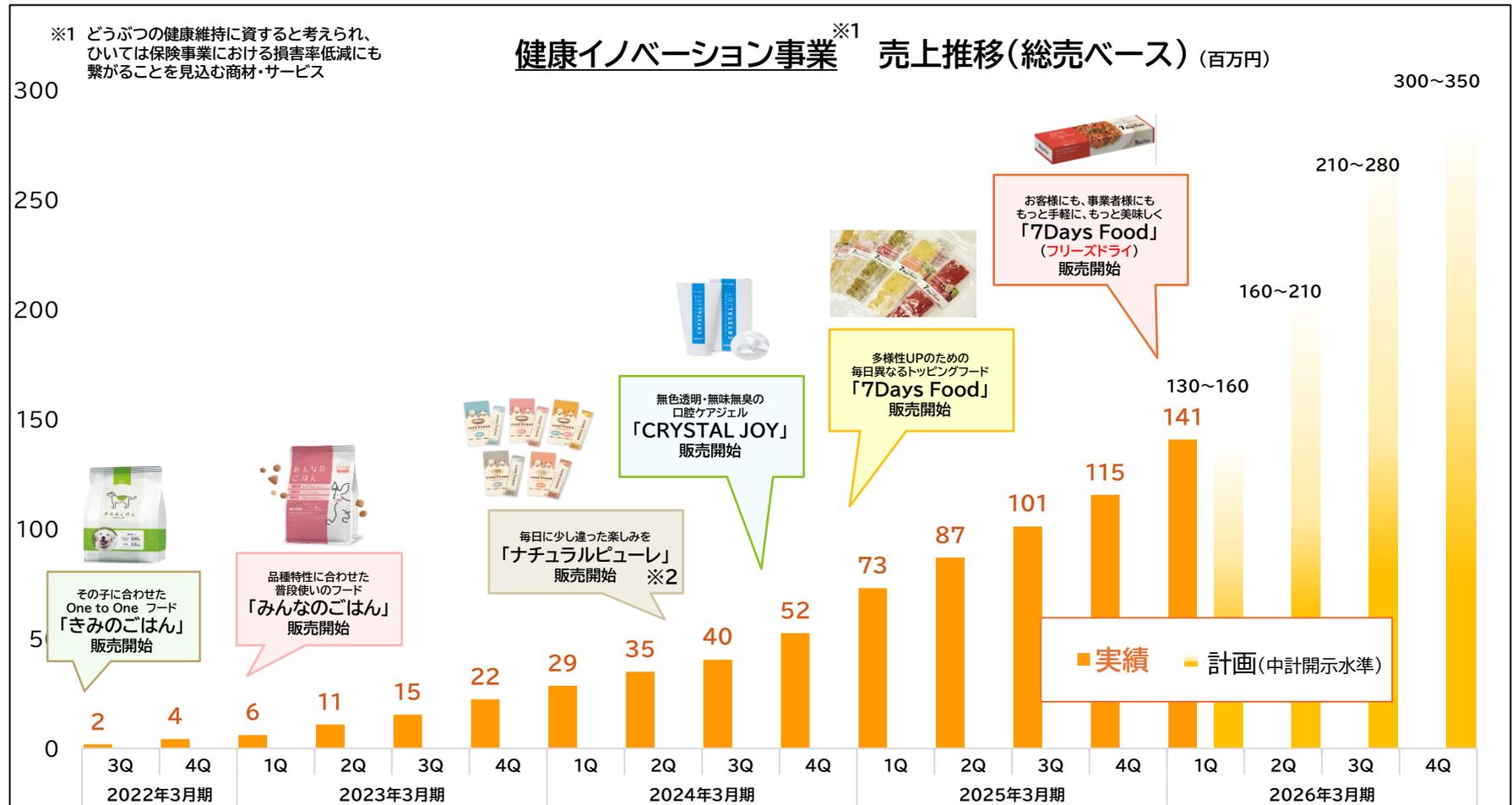
※2 通期の診療件数見込みを225,000件として算出



2. 重点施策の進捗状況 (シナジー創出事業②)

●健康イノベーション事業主要KPI

「CRYSTAL JOY」の追加発注増加や、「7Days Food(フリーズドライ)」の新規販売開始により、「中期経営計画2025-2027」にて示した水準にコミット。



※2 現在は販売終了しており、「CARE PUREE」としてリニューアル。



3. トピックス① 予防型保険実現のための健康ケア

アース製薬と「ペット用MA-T®口腔ケアジェル」について独占販売契約を締結

アニコム パフェ株式会社は、革新的酸化制御技術「MA-T® System」を活用した「ペット用MA-T® 口腔ケアジェル」について、アース製薬株式会社と一定期間にわたる独占販売契約を締結。

▶4月24日付ニュースリリース https://www.anicom-pafe.com/tands/tands_20250424.html



猫用ケアフードの販売開始

アニコム パフェ株式会社は、キャットフード事業を運営する株式会社 uniamと、猫の健康を科学的にサポートする機能性ウェットキャットフード「anicom Care Deli with uniam」を販売。

▶6月18日付ニュースリリース

https://www.anicom-pafe.com/tands/tands_20250618.html



「CARE PUREE」新フレーバーの発売

愛犬・愛猫用おやつ「CARE PUREE」に、ビーフ味(肝臓ケア)・馬肉味(腎臓ケア)が新フレーバーが登場。全7種をローテーションして与えることで、さらに健康をサポート。

▶6月19日付ニュースリリース

https://www.anicom-pafe.com/tands/tands_20250619.html





3. トピックス② 大阪・関西万博での取り組み

万博限定ペット用MA-T®口腔ケアジェルを無料配布

大阪・関西万博の日本MA-T®工業会ブースにて、ペット用MA-T®口腔ケアジェルの無料サンプリングを実施。ペットの口腔ケアの重要性を生命の歴史とともに考える動画も常時上映。

▶4月9日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250409/>



■お客様の声

無料配布と、ペットの口腔環境の重要性についての展示をしていると知り、万博に行くことになった時から気になっていました。気に入ってくれたので、今まで以上に口腔ケアを頑張ります。



犬の笑顔をAIで判定 『世界えがお博覧会』公開

犬の写真からAIが笑顔度を判定するサイト『世界えがお博覧会』を公開。大阪・関西万博にて行われた、大阪ヘルスケアパビリオン主催のペット共生イベントでも本サイトを紹介。

▶4月23日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250423/>





3. トピックス③ ペット共生に向けた新たな価値創造

川崎市動物愛護センター譲渡猫室のネーミングライツを取得

川崎市とネーミングライツパートナーに関する契約を締結。動物愛護・福祉の普及・啓発を行うとともに、まだ飼い主のいない猫の譲渡を促進する一助となることを企図した。本ネーミングライツパートナーの一環として、当社グループにて開発している腸内免疫ケアや口腔ケアに関する各種商材の提供を行い、動物の健康増進にも貢献していく。

▶4月1日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250401/>

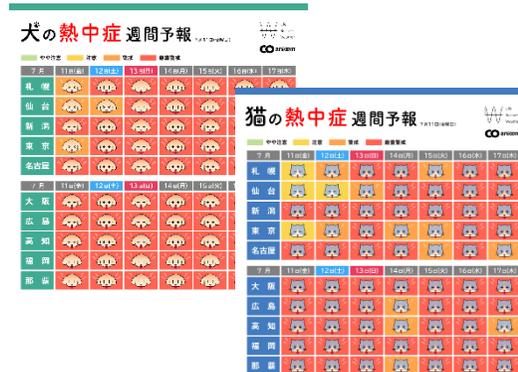


犬・猫の「熱中症週間予報」開始

飼い主様の適切な対策により“防げる病気“である熱中症を予防するため、SNS等を通じて「熱中症週間予報」を配信している。犬は2013年から・猫は2022年から継続しており、飼い主の皆様からは暑さ対策の参考になると好評をいただいている。

▶4月24日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250424/>



『ani voice』モニター登録者数が2万人を突破

アニコム損保のご契約者専用アンケートサイト『ani voice』のモニター登録数が2万人を突破。ペット特化型のマーケティングリサーチサービスを通じた調査結果は、当社グループのみならず、提携企業における商品・サービス開発の場面でも幅広く活用されている。

▶6月26日付ニュースリリース

<https://www.anicom-sompo.co.jp/news-release/2025/20250626/>



3. トピックス④ グループ創業25周年



2025年7月、グループ創業25周年

2025年7月の創業25周年にあたり、周年記念サイトを制作。2000年共済創業時から現在に至るまでのロゴやイラストの歴史、アニコム損保のペット保険の象徴であり“家族の証”でもある「どうぶつ健康保険証」の変遷をはじめとしてこれまでのグループの歩みを振り返るとともに、25周年感謝キャンペーンを開催した。



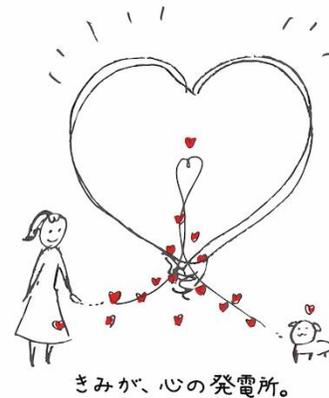
細菌も植物もトカゲも恐竜も、鳥も蜂もサルもオオカミも、

犬も猫も人間も。地球上のあらゆる生命は繋がりが合い、

歴史を紡いでいます。その奇跡を守り、笑顔あふれる豊かな未来を描くために。

アニコムグループは、創業25周年を迎えました。

Since July 5, 2000



25周年感謝キャンペーンでは、2014年制作のブランドメッセージ「きみが、心の発電所。」をモチーフとしたARを作成。SNSで多くの飼い主様に投稿いただいた。

飼い主様の投稿より



きみが心の発電所💡 素敵な言葉✨
てんちゃんがいっぱいパワーを
くれるから飼い主は頑張れるよ😊❤️

ルクが心の発電所💜❤️
どんなことがあってもルクがいる
だけで最高の気持ちになる😊
パパとママのどこに来てくれて
ありがとう👨👩👧👦🐶🐱





3. トピックス⑤ 資本政策・株主還元

自己株式の取得状況

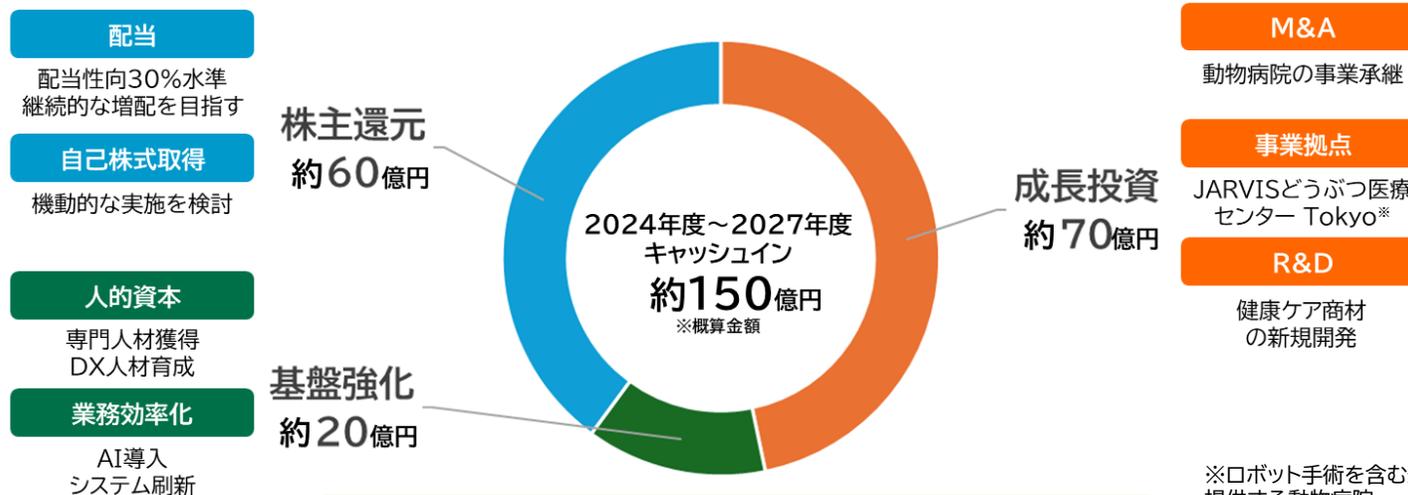
■ 概要

- 2025年5月9日、10億円を上限とする自己株式取得の実施を決定
- 2025年6月2日～2025年9月30日の期間で取得予定
- **2025年6月末現在、約2.4億円を取得済**(2025年7月末現在 約5.5億円取得済)

■ 中期経営計画 資本政策方針

ESRを適正水準に保ちつつ、『成長投資』、『基盤強化』、『株主還元』の最適なバランスを目指す

キャッシュアロケーション



【ESRの影響】

- ・責任準備金などの資産および負債を、経済価値ベースで評価する新たな法規制
- ・従来の「その他保険」から、リスク係数の低い「ペット保険」への区分変更
- ・余剰資本の活用を検討

※ロボット手術を含む最先端の高度獣医療を提供する動物病院
▶5月9日付ニュースリリース
<https://www.anicom-sompo.co.jp/newsrelease/2025/20250509/>

3 APPENDIX

1. 主要経営パラメータ

2. アニコム損保単体：経常収益のパラメータ

(ペット保険新規契約獲得件数 / 保有契約件数の推移)

3. アニコム損保単体：経常費用のパラメータ

(損害率(E/I)、既経過保険料ベース事業費率)





1. 主要経営パラメータ

	25年3月期 1Q	25年3月期末	26年3月期 1Q	対前年同期比		対前期末比	
				件数	率	件数	率
① 保有契約数	1,213,737 件	1,287,923 件	1,318,043 件	104,306 件	8.6 %	30,120 件	2.3 %
② 新規契約数	57,986 件	245,741 件	69,815 件	11,829 件	20.4 %	-	-
③ 継続率	88.1 %	88.2 %	88.3 %	-	-	-	-
④ 保険金支払件数	1,116 千件	4,564 千件	1,161 千件	43 千件	4.0 %	-	-

26年3月期末 (5月9日予想)
1,390,000 件
280,000 件
88.2 %
4,804 千件

	25年3月期 1Q	26年3月期 1Q	対前年同期比 増減
⑤ E/I損害率	61.1 %	62.4%	1.3 pt
⑥ 既経過保険料ベース事業費率	32.8 %	35.5%	2.7 pt
⑦ コンバインド・レシオ(既経過保険料ベース)	93.9 %	97.9%	4.0 pt

26年3月期末 (5月9日予想)
61.1 %
33.6 %
94.7 %

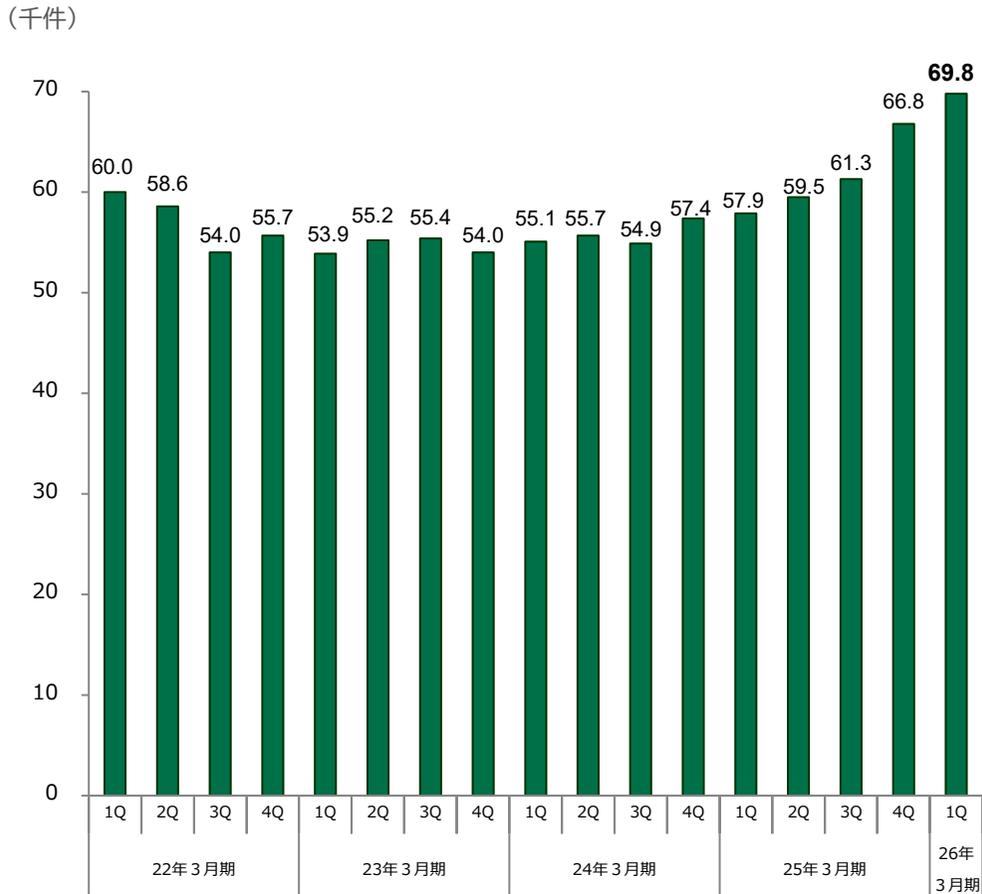
	25年3月期末	26年3月期 1Q	対前期末比 増減
⑧ 単体ソルバンシー・マージン比率	345.2 %	345.6 %	0.4 pt

	25年3月期 1Q	26年3月期 1Q	対前年同期比 増減
⑨ どうぶつ健活(腸内細菌叢検査)申込数	59,431 件	62,968件	6.0 %
⑩ 対応動物病院数	6,908 病院	6,995 病院	1.3 %

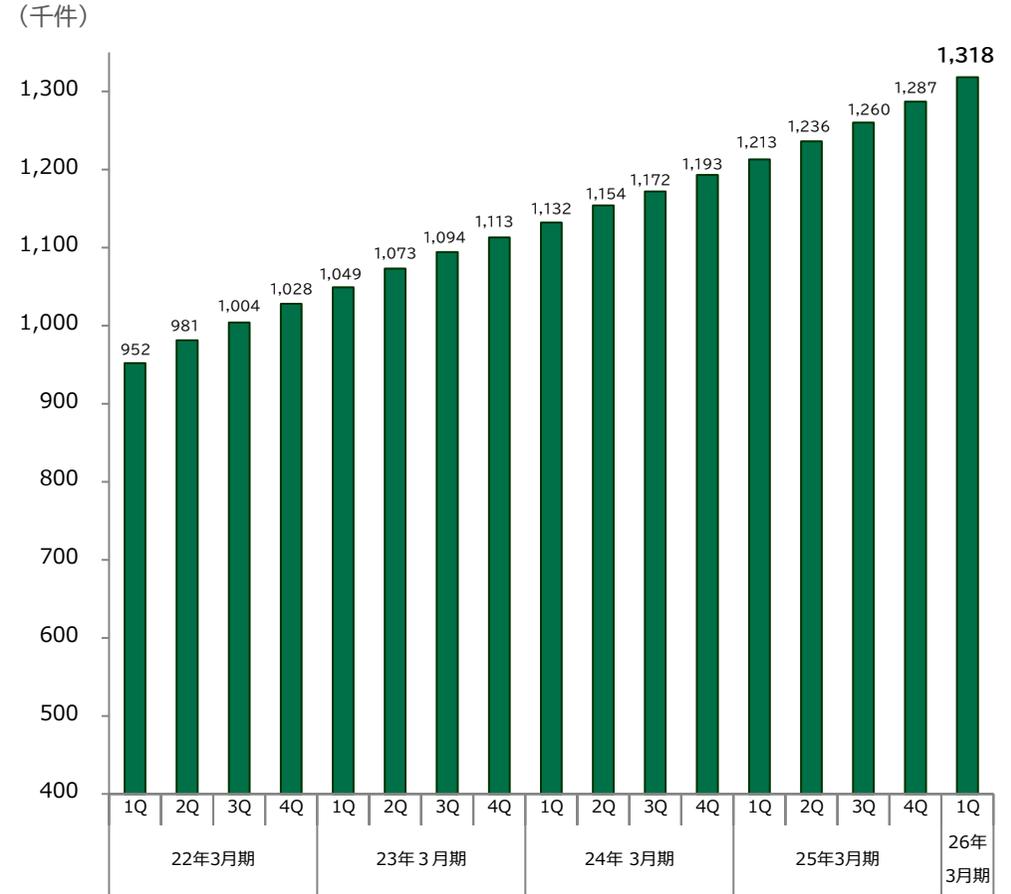


2. アニコム損保単体:経常収益のパラメータ

新規契約獲得件数の四半期推移



保有契約件数の四半期推移





3. アニコム損保単体:経常費用のパラメータ

【参考情報】

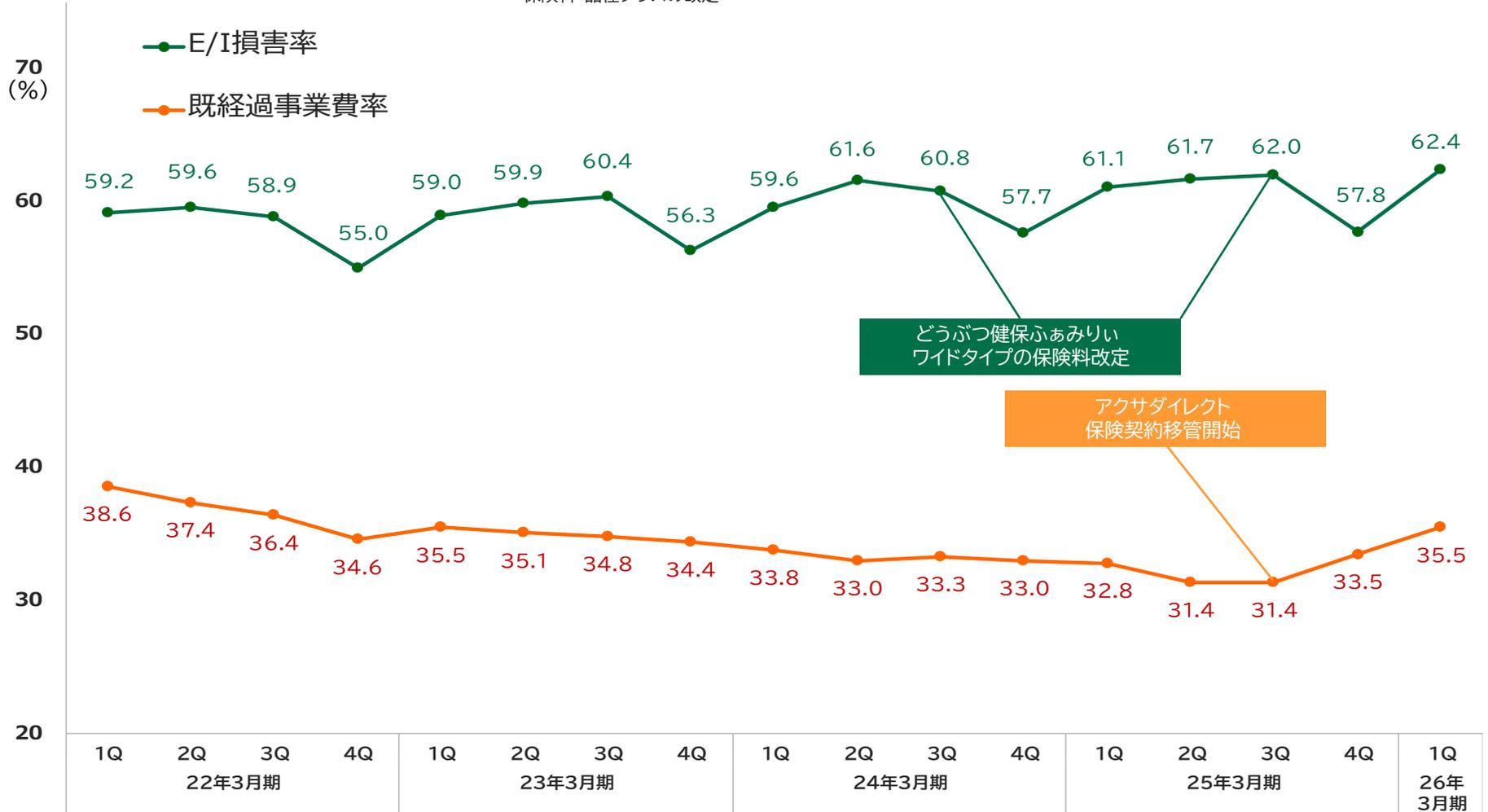
15年3月期 1Q
■ 保険料改定
・平均12%の改定

15年3月期 3Q
■ 限度日数付き新商品
■ 健康割増引制度導入

18年3月期 2Q
■ 保険料率改定
・8歳以上の保険料改定

19年3月期 3Q
■ 「どうぶつ健活」の導入
■ 保険料改定
・保険料・品種クラスの改定

注1) 下表は、四半期毎の平均値を記載しておりますので、当期累計平均とは異なります。
注2) 事業費率は「既経過保険料ベース事業費率」(損保事業費÷既経過保険料)を表しております。

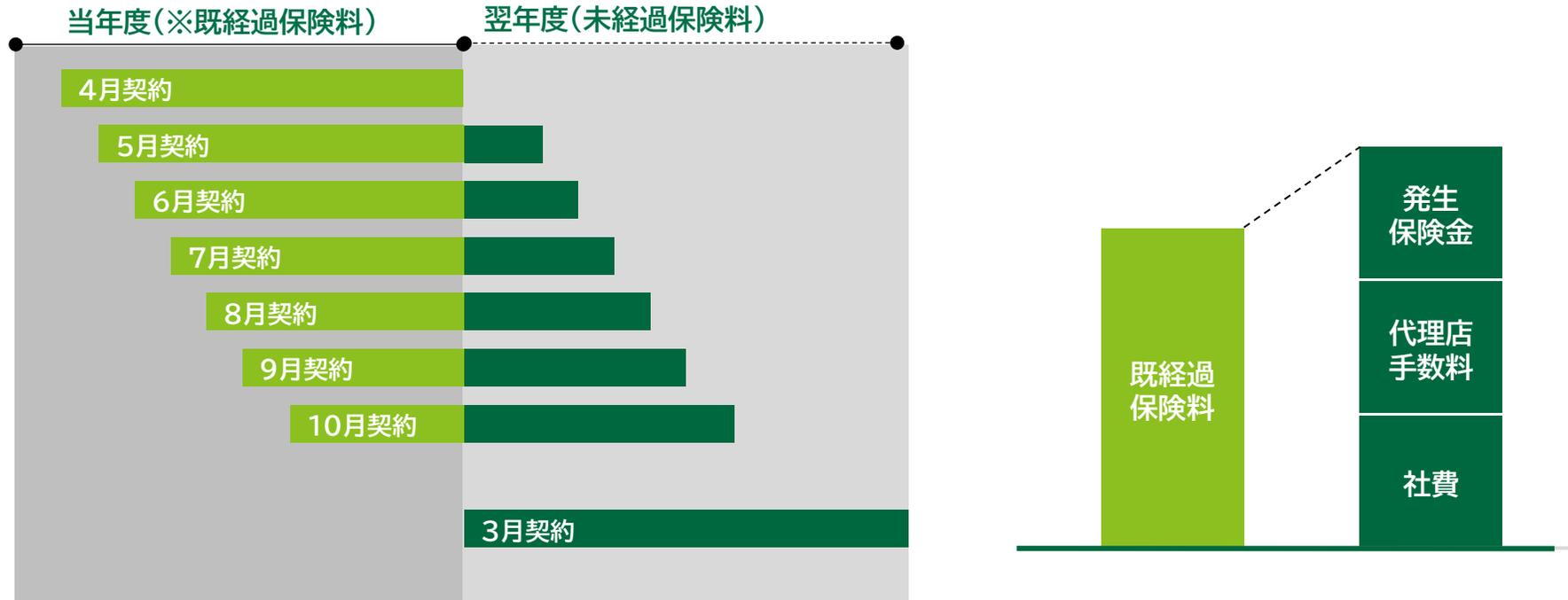




(参考) 保険会計が経常損益に与える影響

1. 保険料の増加が経常損益に与える影響(日本の損保会計ベース)

一般的に、保険料の増加は経常収益の増加に寄与しますが、事業年度における保険料の未経過期間部分については、普通責任準備金(未経過保険料)として次年度に繰り越すことが法令により定められています。一方で、発生保険金、代理店手数料、社費等の費用については、保険料の増加に対応する費用を含め、これらの費用が発生する年度において計上することとされています。したがって、保険料の増加に伴い増収となる場合であっても、当該費用が既経過保険料を超過する場合は、当該年度の経常損益にマイナスの影響を与えることとなります。



2. 異常危険準備金が経常損益に与える影響(日本の損保会計ベース)

・異常危険準備金は、巨大災害等が生じた場合の保険金の支払いに備えるために法令により積み立てておくこととされているものであり、各保険会社が毎期積み立てを行っているものです。

・異常危険準備金は、正味損害率(※)が50%を超えると取崩し(費用のマイナス)が行われます。(※)正味支払保険金を正味収入保険料で除した割合です。



お問合せ先

アニコム ホールディングス株式会社 経営企画部 (IR事務局)

東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階

www.anicom.co.jp

本資料に関する注意事項

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しておりますため、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。そのため、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。従いまして、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。